



ミニプラネタリウム（秋）



小郡市周辺から見える秋の星座を映すことができるミニプラネタリウムです。
自分で作ったあとは、スマートフォンのライトなどを使って、お部屋でも星座を眺めることができます！

作り方

①

型紙を
切る

- オレンジの線に沿って本体と台座を切ろう。
- 台座の真ん中を切り抜くこともお忘れなく。

②

穴を
あける

- ダンボールなどを下にひいて、4つの星座の星をていねいに空けていこう。
- 赤色の星は穴を大きくするといいよ。

③

折る

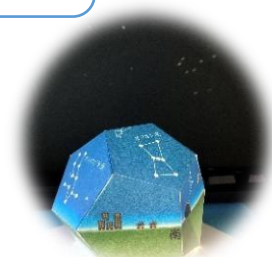
- やま折り（折り線が外側に出るように折る）、たに折り（折り線が内側になるように折る）を確認しながら、折り目をつけていこう。

④

のり付け

- のりしろの部分に両面テープ、もしくはのりをつけて、合わせよう。
- 合わせるのりしろは同じ番号か同じマークが付いているよ（①と①、☆と☆など）

自分の名前を書いた台座に取り付け
本体の向き（方角）と台座の向き（方角）を合わせて、
完成!!

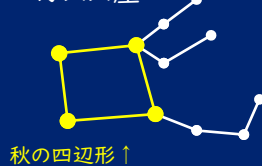


下からスマートフォンのライトなどを当てて、
星座を映し出してみよう!!

秋の星空解説① 秋の四辺形

この時期には、南の空の高い位置で輝いています。少し暗いですが、4つの星を長方形の形に結んで、四角形を作りましょう。周りに明るい星は少ないので、意外と簡単に見つけることができます。実はこの四角の形はペガサス座という星座の一部でもあります。馬に羽が生えた姿として描かれている天馬ペガサスが夜空を勢いよく飛んでいる姿をイメージしてみましょう。

ペガサス座



秋の星空解説② 中秋の名月

中秋とは「秋の真ん中」からきており、中秋の名月は旧暦（月の動きをもとに作られた昔のカレンダー）の8月15日に見える月のことです。元々は中国で始まった行事であり、平安時代に日本に伝来してきたと、言われています。名月の日は旧暦の日付をもとに決められているため、必ずしも名月＝満月とは限りません。

